



平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店 上場取引所 東
 コード番号 8244 URL http://www.d-kintetsu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高松 啓二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務本部長 (氏名) 泉川 邦充 TEL 06-6655-7030
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	204,878	1.4	3,114	86.2	2,793	108.0	2,409	66.8
30年2月期第3四半期	202,068	5.3	1,671	—	1,342	—	1,444	470.6

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 1,958百万円(14.9%) 30年2月期第3四半期 1,705百万円(154.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	59.68	—
30年2月期第3四半期	35.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	136,126	34,423	25.3
30年2月期	128,307	32,465	25.3

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 34,423百万円 30年2月期 32,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	281,100	△0.4	5,100	4.4	4,600	4.1	3,800	159.9	94.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	40,437,940株	30年2月期	40,437,940株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	60,503株	30年2月期	60,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期3Q	40,377,500株	30年2月期3Q	40,377,958株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
平成30年度第3四半期 決算補足資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年3月1日～平成30年11月30日)のわが国経済は、雇用、所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調をたどりましたが、米国の通商政策が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状況にあります。

百貨店業界におきましては、好調なインバウンド需要による下支えがあったものの、西日本豪雨や相次ぐ大型台風など自然災害の影響を受け、全国百貨店売上高は、7月以降、勢いに精彩を欠いて推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、昨年4月に策定いたしました「中期経営計画(2018年度～2020年度)」に基づき、新たな百貨店事業モデルの実現に向け、地域とともに成長する「地域共創型百貨店」の創出に取り組むほか、新たなビジネス分野における事業モデルの構築に向けた諸施策を推し進め、収益力の向上に懸命の努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、一層の集客力及び収益力の強化を図るため、あべのハルカス近鉄本店では、ウイング館10階屋上に緑あふれる「ハルカスウイングガーデン」をオープンし憩いの空間を創出するとともに、タワー館同階の活性化を図りました。

また、化粧品売場においてインバウンドに訴求力のあるショップを拡充するほか、1階において特選ブランドのさらなる集積を図る改装に着手いたしました。

四日市店では、地域共創型の百貨店として物販以外のサービスを拡大し、地域の人々が様々な目的で集うことのできる場の創造を目指し、11年ぶりの大規模改装を実施し、東海地区最大の無印良品や三重県初の「Café&Meal MUJI」、コミュニティ機能の強化としてサービスオフィス「SYNTHビジネスセンター」を導入するなど新たな事業モデルの創出、収益化に取り組みました。

さらに、奈良店では地域商社事業のコンセプトショップとして「大和路」を本格的に始動するとともに、フランチャイズ方式の高級食材スーパー「成城石井」を展開するなど、新たな魅力を発信してまいりました。

この結果、売上高は188,872百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は2,412百万円(同154.5%増)となりました。

②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売が好調に推移した一方で、株式会社シュテルン近鉄が輸入自動車販売の競争激化を受け減収となったため、売上高は10,809百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は159百万円(同3.9%減)となりました。

③内装業

内装業におきましては、株式会社近創で前年に大口工事受注があった反動により、売上高は2,465百万円(前年同期比28.4%減)となりましたが、諸経費の削減により営業利益は480百万円(同24.8%増)となりました。

④その他事業

その他事業におきましては、売上高は2,730百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は174百万円(同10.9%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は204,878百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は3,114百万円(同86.2%増)、経常利益は2,793百万円(同108.0%増)となりました。これに固定資産除却損等374百万円を特別損失に計上し、法人税等を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は2,409百万円(同66.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金や商品の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7,818百万円増加し136,126百万円となりました。負債は、借入金の返済により減少した一方で、買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5,860百万円増加し101,702百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ1,958百万円増加し34,423百万円となりました。この結果、自己資本比率は25.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年9月26日に公表した予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,497	4,560
受取手形及び売掛金	10,467	14,168
商品及び製品	7,881	9,142
仕掛品	254	441
原材料及び貯蔵品	27	32
その他	6,391	7,970
貸倒引当金	△31	△29
流動資産合計	28,489	36,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,647	46,572
土地	27,087	27,087
その他(純額)	2,940	3,451
有形固定資産合計	77,675	77,111
無形固定資産	1,705	2,639
投資その他の資産		
投資有価証券	4,821	4,250
敷金及び保証金	10,754	10,712
退職給付に係る資産	3,113	3,176
その他	1,982	2,133
貸倒引当金	△234	△185
投資その他の資産合計	20,436	20,088
固定資産合計	99,818	99,839
資産合計	128,307	136,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,018	25,268
短期借入金	12,078	10,675
未払法人税等	734	147
商品券	8,894	9,182
預り金	27,641	29,505
賞与引当金	265	87
商品券等引換損失引当金	6,417	6,260
資産除去債務	23	—
その他	4,865	8,997
流動負債合計	81,939	90,125
固定負債		
長期借入金	8,830	6,231
退職給付に係る負債	471	482
厚生年金基金解散損失引当金	166	166
資産除去債務	297	304
その他	4,137	4,393
固定負債合計	13,902	11,577
負債合計	95,841	101,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	8,990	8,990
利益剰余金	6,768	9,178
自己株式	△84	△85
株主資本合計	30,674	33,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210	755
退職給付に係る調整累計額	579	583
その他の包括利益累計額合計	1,790	1,339
純資産合計	32,465	34,423
負債純資産合計	128,307	136,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	202,068	204,878
売上原価	154,947	156,290
売上総利益	47,121	48,587
販売費及び一般管理費	45,449	45,473
営業利益	1,671	3,114
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	51	53
未請求債務整理益	668	685
その他	161	185
営業外収益合計	883	926
営業外費用		
支払利息	133	93
商品券等引換損失引当金繰入額	718	706
その他	360	447
営業外費用合計	1,212	1,247
経常利益	1,342	2,793
特別利益		
固定資産売却益	340	—
環境対策費戻入益	100	—
特別利益合計	441	—
特別損失		
固定資産除却損等	72	374
特別損失合計	72	374
税金等調整前四半期純利益	1,711	2,418
法人税、住民税及び事業税	272	354
法人税等調整額	△5	△346
法人税等合計	267	8
四半期純利益	1,444	2,409
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,444	2,409

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	1,444	2,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	242	△454
退職給付に係る調整額	18	3
その他の包括利益合計	260	△450
四半期包括利益	1,705	1,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,705	1,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	内装業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	188,872	10,809	2,465	2,730	204,878	—	204,878
セグメント間の 内部売上高又は振替高	95	2,723	2,701	2,587	8,109	△8,109	—
計	188,968	13,533	5,167	5,318	212,987	△8,109	204,878
セグメント利益	2,412	159	480	174	3,227	△113	3,114

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成30年度第3四半期 決算補足資料

個別決算関係

1. 個別決算の概要

(単位：百万円、%)

	当第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比
売上高	189,251	2.1
営業利益	2,671	124.1
経常利益	2,265	160.8
四半期純利益	1,896	92.3

2. 店別売上高

(単位：百万円、%)

	当第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	90,387	8.1
上本町店	17,817	2.0
東大阪店	2,322	△4.0
奈良店	18,057	1.5
橿原店	11,418	△5.1
生駒店	5,317	△15.7
和歌山店	15,228	△0.3
草津店	7,913	△3.1
四日市店	14,606	△7.0
名古屋店 (近鉄パッセ)	6,182	△6.1
合計	189,251	2.1

(注) あべのハルカス近鉄本店単独

87,542

9.1

3. 商品別売上高

(単位：百万円、%)

		当第3四半期累計期間	
		金額	前年同期比
衣料品	紳士服・洋品	6,396	△3.1
	婦人服・洋品	31,065	△5.3
	子供服	3,642	0.8
	その他衣料品	5,671	△10.4
	計	46,776	△5.2
身回品		19,987	8.4
家庭用品	家具	1,980	16.4
	家庭電器	33	△12.1
	その他家庭用品	3,939	△1.4
	計	5,953	3.8
食料品		58,995	△2.0
食堂喫茶		3,488	△3.6
雑貨	雑貨	18,926	△2.8
	化粧品	24,889	36.4
	計	43,815	16.2
サービス		1,220	△24.3
その他		9,014	3.5
合計		189,251	2.1